

小俣第15号踏切（三重県伊勢市）～バイパス整備～

- 踏切道の西側にバイパスを整備し交通分散を達成
- パイパスにより、渋滞が緩和し、円滑な交通が実現



対策後(アンダーパス)



対策後(オーバーパス)



| | |
|--------|----------|
| 鉄道事業者名 | 近畿日本鉄道 |
| 鉄道路線名 | 近鉄山田線 |
| 道路管理者名 | 三重県 |
| 道路名 | 旧県道伊勢松阪線 |

○当該踏切が抱える課題

- ・踏切自動車交通遮断量65,644台・時/日
(自動車ボトルネック)

○現場特有の背景

- ・東西幹線(国道23号および鳥羽松阪線)間を南北に結ぶ伊勢松阪線上に位置
- ・踏切道では、慢性的な渋滞が発生
(最大渋滞長480m(H24以前))
- ・歩道が無く、自動車と歩行者が輻輳

○対策概要(対策完了H24年度)

- ・踏切道の西側に、新たに南北幹線となる県道伊勢松阪線のバイパスを整備
- ・近鉄山田線とはアンダーパス、JR参宮線とはオーバーパスで交差

○対策効果

- ・バイパスの整備により、交通量が減少
(踏切自動車交通遮断量65,644台・時/日(H24以前)
⇒41,534台・時/日(H26))
- ・踏切道在先頭とする渋滞長が減少
(480m(H24以前)⇒65m(対策後))

対策前(小俣第15号踏切)



対策後(小俣第15号踏切)

